

平成27年度 第2回 地域力ミニフォーラム 意見交換発言要旨

開催日時：平成28年2月17日（水） 午後7時00分～午後8時30分

開催場所：瀬戸市文化センター22会議室

登壇者

萩山台地域力向上委員会 子育てグループ	吉野志乃氏
道泉地域力推進協議会 子育て支援グループ	中神堅右氏
長根連区地域力向上委員会 子育て支援グループ	加藤政枝氏
	青山明日香氏
学識経験者（株）地域計画建築研究所 名古屋事務所 副所長	安藤謙氏
瀬戸市役所 地域活動支援室 室長	中桐章裕

質疑応答

Q. 長根で実施した阿波踊りはどのような繋がりで講師を呼ぶことができたのか？

A. 長根連区地域力向上委員会役員の知り合いから紹介をいただいた。その他にも長根で実施しているイベントは多くの方の繋がり、ご厚意に助けられながら開催している。

Q. 私たちの地域では、地区社会福祉協議会が道泉、長根と同じような内容の子育て支援を月に1、2回実施している。道泉、長根では地区社会福祉協議会と連携して事業に取り組んでいるのか？

A. 道泉の場合、地区社会福祉協議会の取り組み事例を参考にしつつも、現状では特に連携していない。

A. 長根の場合も、地区社会福祉協議会と現状は特に連携しておらず、長根連区地域力向上委員会のみで実施している。

Q. 現役世代の親は仕事や子育てに忙しく、会議などに参加する時間を取ることが難しい。そのため、子育て支援の取り組みを行おうにもスタッフが集まらないのが現状である。報告された3地域とも、子育て支援に意識の高い方が多いようだが、どのようにスタッフを集められたのか？

A. 萩山台では、PTA役員の方たちに声をかけて、なるべく若い世代を取り込むように工夫している。毎年、PTA役員の方たちに声を掛け続けることで、メンバーは年々増えていく。

A. 道泉の「子育てひろば」は、ほぼ固定のメンバーで運営している。私自身はPTA会長であったことから子育て支援事業に関わるようになった。新しいメンバーを募っても継続できる方は少なく、結果的にほぼ同じメンバーで運営していくこととな

る。

- A. 長根でも萩山台と同じように、小学校のPTAをお願いしている。PTA役員の方の中には、任期が終わってもそのまま続けてくださる方がいる。また、町内会長にもお願いしている。新たなメンバーがさらにメンバーを紹介してくださる場合もあり、人の繋がりでスタッフが集まっている。

- Q. 長根で開催されるイベントには、毎回100人を超える参加者が集まっているが、これだけ多くの人が集まる理由は何か？

- A. 長根連区地域力向上委員会が拠点としている「長根ふれあいセンター“連”」では、地域住民がいつでも立ち寄れる場所を目指して、地域のニーズを拾いながら実績を重ね、徐々に集客を伸ばしてきた。こうした取り組みの積み重ねが毎回のイベントの集客に大きく影響を与えていると思う。

会場からの意見

3地域とも、発表された皆さんがリーダーシップを発揮して、メンバーを導いていることがよくわかる発表であった。リーダーの大変さ、子育て支援事業の立ち上げの苦労がよくわかった。皆さんの取り組みに対して感謝を申し上げたい。

学識経験者 安藤 謙氏によるコメント

①開催場所、②人・体制、③資金、④内容（ノウハウ）、⑤広報、の5点については各地域によってそれぞれ異なり、これらの質を徐々に高めていくことが大切である。しかし、これらの視点全てを一度に満たそうとするのではなく、身の回りの小さなこと、できることから徐々に実施して質を高めていくことが、新たな事業を立ち上げ、継続していく際の勘所になると思う。今回発表していただいた3地域はいずれも、小さなことから実績を積み重ねて、事業を継続している点が大変素晴らしい。今後は、それぞれの地域でアイデアを取り入れて、独自の取り組みをより一層目指して欲しい。

また、このようなミニフォーラムのように、地域の成果を共有する機会がもっとあっても良いと思うし、大切な場であると思う。